インターネットをお使いいただく際のご注意

■セキュリティ対策について

パソコンに誤動作やデータの破壊、個人情報漏洩などを引き起こすコンピュータウイルスなどの不正プログラムや不正アクセスなどの被害報告が多くなっています。電子メールのやりとりや、インターネットに接続しているだけで知らないうちに被害にあってしまうだけでなく、セキュリティ対策を怠ることでまわりの人に被害を広げてしまうことがあります。

ウイルスなどの感染や不正アクセスを防ぐために、定期的に次の対策を行ってください。

※詳しくは、電子マニュアル『サポートナビゲーター』の『つながった後のインターネット』をご覧ください。

■Windows を最新の状態にする

「Windows Update」を利用することで、Windows の最新の修正モジュールを適用し、最新の状態にすることができます。「スタート」－「すべてのプログラム」－「Windows Update」で起動します。「高速インストール(推奨)」をクリックしてください。詳しくは、『サポートナビゲーター』－『つながった後のインターネット』－『Windows を更新する』をご覧ください。

ご購入された状態では自動更新機能が有効になっていますので、インターネットに接続しておけば自動的に修正モジュールをダウンロードし、適用することができます。画面右下の通知領域に「更新の準備ができました。これらの更新をインストールするには、ここをクリックしてください。」と表示された場合は、通知領域の をクリックします。「自動更新」と表示されますので、「高速インストール(推奨)」を選択し、「インストール」ボタンをクリックしてください。

■Office2003 を最新の状態にする

Office2003 モデルの場合は、Office2003 のアップデートを行ってください。

Office2003 のアップデートは、Windows Update の画面で「Office ファミリ」をクリックして表示される Office Online の画面で、「アップデートの確認」をクリックしてください。

はじめて Office をアップデートする際、「エラー！ ダウンロードサイトの検出ツールを実行でき

ませんでした」や、「以前のサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります」のメッセージが表示される場合があります。
表示されたメッセージにしたがって、Microsoft Office Online Web サイトを信頼済みサイトとして追加した後、ActiveX コントロールをインストールしてください。
詳しくは、『サポートナビゲーター』―『つながった後のインターネット』―『Windows を更新する』―『Office を更新する』をご覧ください。
※Office のアップデートは自動で行うことはできません。
　定期的にアップデートを確認してください。

■ウイルス対策ソフトを最新の状態にする

ウイルスからパソコンを守るために、ウイルス対策ソフト「マカフィー・ウイルススキャン」のアップデート機能でウイルス定義ファイルなどを最新の状態にしておき、こまめにウイルスチェックを行ってください。
このパソコンに搭載している「マカフィー・ウイルススキャン」では、製品登録後、はじめてアップデート機能を利用した日から90 日間、無料でセキュリティサービスのアップデートが受けられます。90 日間の無料期間を過ぎると、それ以降のアップデートは有料の契約が必要になりますが、ウイルスチェックの機能は引き続き使うことができます（ただし、新しいウイルスに対応することができなくなるため、ぜひ有料のアップデートサービスを契約して定義ファイルを更新することをお勧めします）。

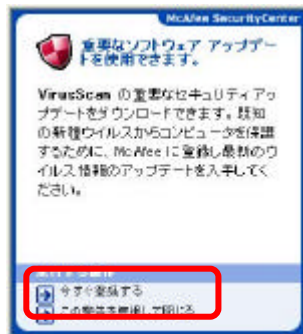
●「マカフィー」の製品登録の方法

「重要なソフトウェア　アップデートを使用できます」(右上図)が表示されていたら、「今すぐ登録する」をクリックします。マカフィーの警告が表示されていないときは、次の手順で行ってください。

1. インターネットに接続します。
2. 画面右下の通知領域にある M を右クリックし、「更新」をクリックします。
3. 「McAfee SecurityCenter の更新」が表示されます。「今すぐ確認する」をクリックします。
4. 「重要なソフトウェア　アップデートを使用できます」(右上図)が表示されます。
　「今すぐ登録する」をクリックします。

マカフィーの「90 日間無償サポート開始登録」のホームページが表示されます。ホームページの記載にしたがって、登録を行ってください。
詳しくは、『サポートナビゲーター』―『つながった後のインターネット』―『ウイルス感染の防止』―『[予防 1]はじめにすること』をご覧ください。

●「マカフィー」の定義ファイルを更新する

ご購入された状態では、製品登録されたあと自動的にアップデートを行うよう設定されています。
定義ファイルなどが更新されると「Web サービスの更新をインストールしました」と表示されますので、「今の作業をつづける」をクリックしてメッセージを閉じてください。

しばらくインターネットに接続されなかったり、お客様の設定によりアップデートの更新が行われなかった場合、セキュリティの警告が表示されます。インターネットに接続し次の手順でマカフィーのアップデートを行ってください。

1. 画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「更新」をクリックします。
2. 「McAfee SecurityCenter の更新」が表示されます。「今すぐ確認する」をクリックします。

● 「マカフィー」の自動更新などのポップアップ表示を止めたいときには

新しいウイルスなどに備えるため、ご購入された状態ではマカフィーの自動更新機能が有効になっていますので、定期的にアップデートを確認するポップアップが表示されます。
全画面を使うゲームソフトを楽しむ時などで、いまポップアップ表示をされたくない時や、ご自身が手動で更新の確認をされる場合、次の手順で設定を変更することができます。

1. 画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「更新」をクリックします。
2. 「McAfee SecurityCenter の更新」が表示されます、「設定」をクリックします。
3. 「自動更新オプション」が表示されます。
   「自動更新を無効にして更新の有無を手動で確認する」をクリックします。
4. 「詳細設定」をクリックします。
5. 「どのセキュリティアラートも表示しない」をクリックします。

「マカフィー」の定義ファイルが古くなると、新しいウイルスなどに対応できなくなりますので、必ず定期的にアップデートを確認してください。

● 「マカフィー・ウイルススキャン」を一時的に止めたい

パソコンの周辺機器やインターネット接続の設定、新しくソフトをインストールするときに、ウイルスチェックを一時的に停止するように指示されている場合があります。次の手順で「マカフィー・ウイルススキャン」を停止することができます。

1. 画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「VirusScan」をクリックします。
2. 一覧表示の中から「無効にする」をクリックします。
3. 「McAfee ActiveShield を無効にした場合、ご使用のコンピュータはウイルスから保護されません。ActiveShield を無効にしますか？」と表示されます。「はい(Y)」をクリックします。

作業終了後は、すみやかに有効に戻すことを忘れないでください。

■ファイアウォールを利用する

不正アクセスからパソコンを守るため、ご購入の状態では Windows ファイアウォールの設定が有効になっています。お使いのソフトがインターネットへ接続しようとするとき、「Windows セキュリティの重要な警告」というメッセージが表示されることがあります。メッセージを読んで、「ブロックする」「ブロックを解除する」「後で確認する」のいずれかをクリックしてください。
また、「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」を使って、外部からの不正アクセスを防止することができます。詳しくは、『サポートナビゲーター』―『つながった後のインターネット』をご覧ください。
※本紙で示された手順や画面は、予告なく変更される場合があります。

再セットアップ方法について

　パソコンをご購入時の状態に戻す方法として、ハードディスクから再セットアップする方法を採用しています。この方法は、手順も簡単で比較的短時間で再セットアップができます。

　再セットアップ用CD-ROMまたはDVD-ROMをご自分で作成してご利用にもなれます。この方法は市販のCD-R媒体またはDVD-R媒体を用意し、お客様に再セットアップ用CD-ROMまたはDVD-ROMを作成していただいて、この媒体で再セットアップする方法です。

　また、作成済みの再セットアップ用 CD/DVD-ROM の販売もしています。

　再セットアップの方法や、再セットアップ用 CD-ROM または DVD-ROM の作成、購入先については、添付のマニュアル『準備と設定』の再セットアップに関する項目をご覧ください。

853-810019-304-A

810019304A